

## 口永良部島の山体変動観測結果 (2004年4月～9月)

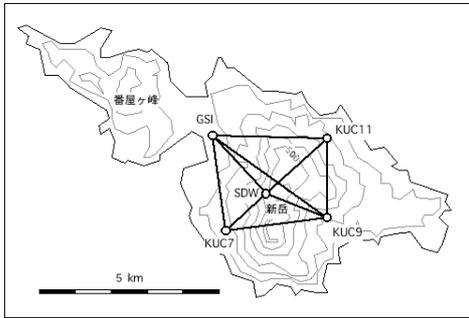


図1 GPS基線配置

2004年4月から、新岳を囲む連続GPS観測（1周波）を行っている（図1）。観測点のうち、テレメータ化したSDW点と、インターネット経由で入手可能なGSI点\*のデータは、リモートで取得可能である。その他の観測点は現地収録したデータを適宜手動で回収している。

また、山頂部の4カ所にEDM用プリズムを設置し、番屋ヶ峰およびKUC9点の東側の2地点から、2004年9月に第1回の観測を行った。

GPS全基線の基線長および3成分の相対変化を図2に示す。この期間では、高低差の大きな基線の上下および斜距離成分に気象の影響と考えられる変化が見られる他は、有意な変動は認められない。

\* 国土地理院の電子基準点（#960725）を利用させて頂いた。

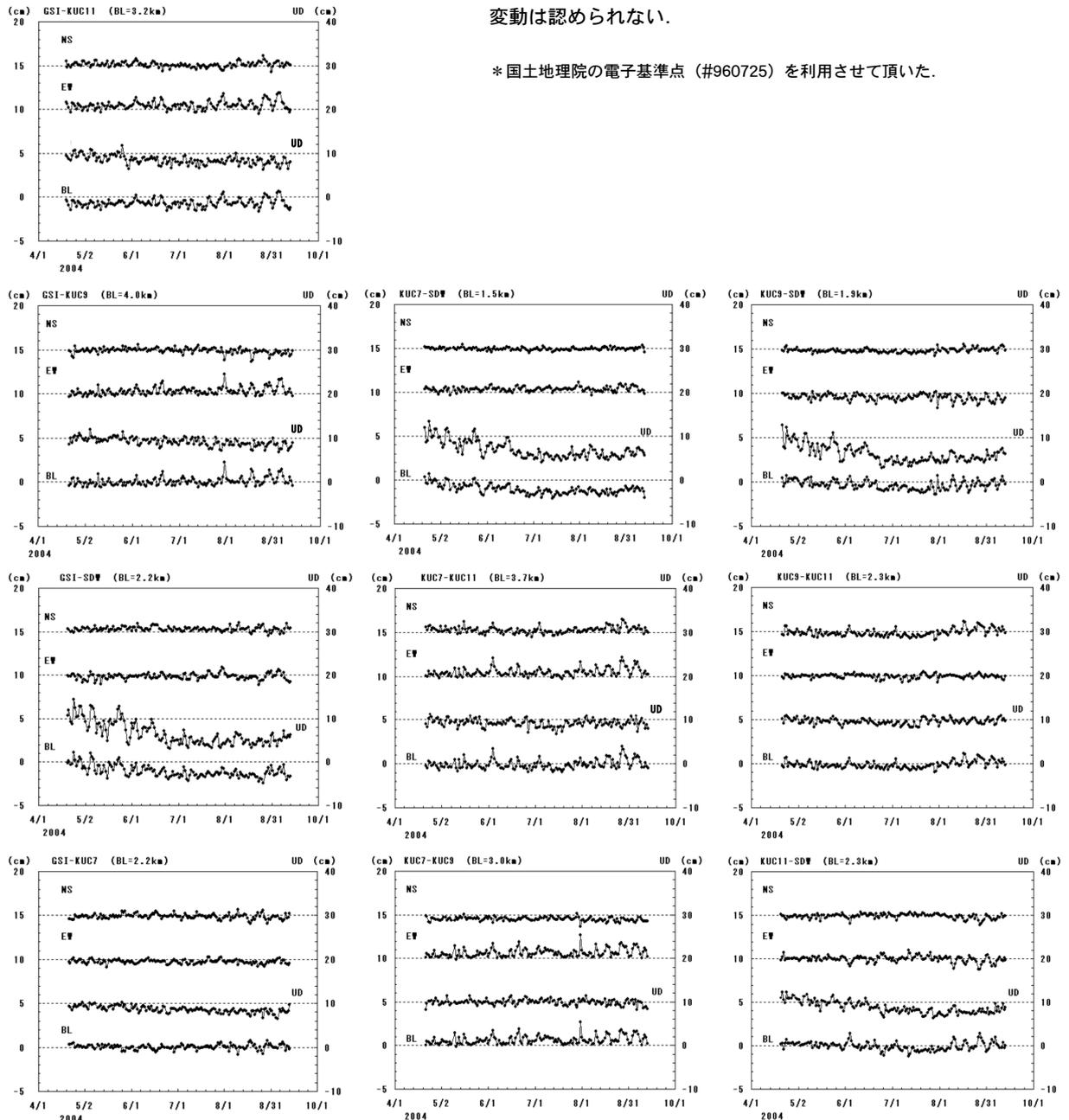


図2 観測結果